



JICHI MEDICAL UNIVERSITY  
SAITAMA MEDICAL CENTER  
自治医科大学

# さいたま医療センターだより

TEL.048-647-2111 FAX.048-648-5180 URL : <http://www.jichi.ac.jp/center>



見沼田んぼのひまわり畑

## センターだより 第21号 ご案内

- ◇新型インフルエンザとセンターの対応について  
ー当センターをご利用される方へお願いー (呼吸器科 小山教授)
- ◇認定看護師紹介 (水上師長)
- ◇部門紹介…医療福祉相談室
- ◇お知らせ…診察順番案内表示システムの設置

## さいたま医療センター 理念・基本方針

### 理念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域に根ざした医療
4. 心豊かな医療人の育成

### 基本方針

1. 患者の皆様を尊重し、開かれた安心できる医療を提供します
2. チーム医療を推進し、安全で質の高い医療を提供します
3. 地域との連携を深め、基幹病院としての役割を果たします
4. 地域医療に貢献する医療人を育成します



## 新型インフルエンザとセンターの対応について —当センターをご利用される方へお願い—

さいたま医療センター新型インフルエンザ対策本部  
呼吸器科教授 小山 信一郎

4月24日突然、「ブタインフルエンザがメキシコとアメリカで流行しています」と世界保健機構（WHO）が宣言しました。その後世界中が大騒ぎになり、日本においても厚生労働省が「新型インフルエンザ」と宣言してからマスコミを始め、一般市民においても日々の挨拶に「新型インフルエンザ」の話題が欠かせないほどでした。特に関西地方で国内発生してからは、パニック状態になりました。当センターにおいては、埼玉県内で2例発生した後、5月25日から外来でのトリアージ（発熱者のチェック）を厳格に行いました。その後、国内では海外で感染した患者さんが入国後に症状がでる持ち込みの発生がほとんどで、県内においても流行と思える新規発生を認めませんでしたので、6月2日で、外来でのトリアージを終了と致しました。その際の皆様のご協力に、感謝申し上げます。

その後、我が国では流行と言うほどでなくても新規患者発生は継続してみられており、着実に全国に広がっています。国外においては、アメリカ、カナダ、メキシコなどでは、相変わらず感染者が増加しておりますが、いままさに冬をむかえる南半球のオーストラリア、チリ、アルゼンチンなどでは患者数が急増してきています。とうとう、6月12日WHOは、フェーズ6（世界的大流行）でかつ、健康被害の深刻度は、「中等度」と言う宣言をしました。これは、新型インフルエンザが世界中に広まりましたが、トリインフルエンザを想定した最も重度な被害を及ぼすほどの健康被害にはならないとの判断です。

世界中で4000万人の死亡者を出した1918-1919年のスペイン風邪の時は6月に小さな流行（第一波）が起こり、あまり注目されませんでした。その年の10月頃から大流行（第二波）が訪れたのでした。今回の新型インフルエンザは、そのときの状況に似ております。1957年から流行したアジアかぜ、1968年から流行した香港かぜも第一波より第二波のほうが大きな被害が出ております。我々の住んでいる北半球は、これから夏をむかえウイルスにとっては、住みにくい環境になります。しかし、寒くなると、逆に住みやすくなり、毎年流行っている季節性インフルエンザと共に流行する可能性が高くなりますので、対策が必要です。

今のところ今回の新型インフルエンザは、「弱毒」といわれており、罹っても心配ないとか、そんなに騒ぐことはないとか、過剰な反応であるとか言われております。しかし、本稿を書いているとき（6月12日現在）には日本ではまだ死亡者がおりませんが、海外では141名の死亡者が報告されており、これら死亡者の多くはいわゆるハイリスクの方々（喘息など慢性呼吸器疾患、冠動脈疾患など慢性心疾患、糖尿病、妊婦、免疫不全患者など）です。健康な人では、たいしたことがないインフルエンザ（季節性もしくは新型）でも、身体の弱い方には、大問題です。当センターに受診される患者さん、入院している患者さんは、そのようなハイリスクの方々が多いので、十分な対策が必要です。

当センターでは、1年前から新型インフルエンザ流行時のマニュアルを作成して来ましたが、当センターでは、4月28日から新型インフルエンザ対策本部を立ち上げ、その対策を行ってきま

した。自治医科大学の新型インフルエンザに対する基本的な方針は、「大流行時において、地域における医療および感染対策に貢献する」ことです。さいたま医療センターにおいてもその基本方針を第一に考え、さいたま市の中核病院の一つとして、新型インフルエンザに対応する所存です。特に重要なことは、いかにしてハイリスクな患者さんを守り、医療を行うかです。当センターには、抵抗力の弱い方が多いため、新型インフルエンザが疑われる方とそうでない方とを接触しないようにしなければなりません。また、そのような抵抗力の弱い患者さんと接する職員は、自分の健康管理をするとともにマスク着用、手洗いなどにより人にうつさないようにしなければならず、少しでも健康状態が悪いときは、休まなければなりません。そのようなことから、当センターでは、地域内発生期（地域に新型インフルエンザ患者が少数発生したとき）、地域内まん延期（地域内に新型インフルエンザが流行したとき）には、以下のように主な対策をとります。

### 1. 外来者・面会者の対策

①正面玄関でのトリアージ（発熱チェックによる熱発者と熱のない方との分離）、サーモグラフィー、問診など ②入館時、マスク着用、手洗いの推奨 ③外来患者制限 ④面会者などの入館時間制限

### 2. 病棟での対策

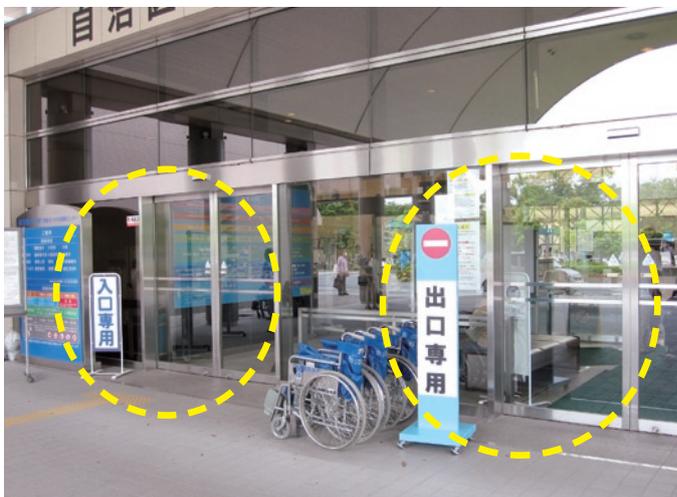
①入院時、外泊時の発熱チェック ②マスク着用、手洗いの推奨 ③面会制限（成人家族のみ）

### 3. 職員の対策

①体温測定による健康管理（申告義務） ②マスク着用、手洗いの施行

このような対策は、関係省庁および自治医科大学からの指針に基づき、当センターの方針としました。このような対策により、我々がかつて経験したことの無いスペイン風邪のような大きな被害が起きないようにしなければならぬと考えております。一人でも多くの患者さんを守り、一人でも多くの重症患者さんを助け、当センターが機能を維持し、社会的責務を十分果たすためには、当センターご利用の皆様のご協力、ご理解、ご援助が必要です。皆様におかれましては、各自マスコミ等で情報収集をするとともに、咳エチケットを何卒よろしくお願いいたします。

“他人を守ることは、自分を守ること”です。



正面玄関を入口専用と出口専用に分けました。



サーモグラフィーでの監視を行いました。

## 新型インフルエンザまん延期の外来患者受け入れ体制について

当センターでは、今後、**新型インフルエンザが地域にまん延した場合**は、外来患者の受け入れ体制を以下のとおりいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 初診の方

紹介状を持参されない方は、受診できません。

\*初診とは、以前当センターに受診されており、前回の治療が終了、又は治癒された方も対象となります。



### 再診の方

- ①原則として、予約の無い方はお受け出来ませんので、事前に電話にてご連絡（予約）ください。
- ②感染防止のため、予約日時の変更をお願いする場合がありますので、ご了承ください。

がんばってます!

## スタッフ紹介

感染管理認定看護師  
師長 水上 由美子

感染管理認定看護師の仕事はちょっと変わった仕事です。直接、患者さんの看護をすることはなく、『患者さんだけではなく病院にいる全ての人を感染から守る』ために様々な活動を行っています。目に見えないバイ菌が相手ですので、試行錯誤しつつ皆に協力をしていただき活動しています。

具体的には、院内を見回り、感染対策上問題がないか点検し、問題があれば改善をお願いしています。また、誰もが感染対策を実施できるように、手順書を作成・見直しを行い、また、それを周知するため職員教育も行っています。そして、新型インフルエンザ等重大な感染症が発生したときには、すかさず関係部署と連絡をとり、必要な感染対策を実施します。

現在は、新型インフルエンザ対策の実施や見直しを行っています。最近、報道が減ってしまいましたが、日本や世界中で患者が増え続け、終息の気配は全くありません。正面玄関の情報掲示板に最新情報や当センターの方針がありますのでご覧ください。

最後に、感染予防の基本『咳エチケット』『正しい手の洗い方』を紹介します。是非、実践願います。

### 【咳エチケット】

- ▶咳・くしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ、できる限り1～2m以上離れましょう。
- ▶鼻水・痰などを含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ▶咳をしている人はマスクを着用しましょう。
- ▶マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。
- ▶咳やくしゃみをする際に押さえた手や腕は、直ちに洗いましょう。手を洗う前は不必要に周囲に触れないよう注意しましょう。手を洗う場所がないことに備えて、携行できるアルコール入りのウェットティッシュを用意しておくとい良いでしょう。



【正しい手の洗い方】

<p>①時計や指輪をはずし流水で濡らします。</p> 	<p>②石鹸を適量とります。</p> 	<p>③手のひらと手のひらをこすり合わせ泡立えます。</p> 	<p>④手の甲をもう片方の手の平でもみ洗いします。(両手)</p> 
<p>⑤親指をもう片方の手で包みもみ洗いします。(両手)</p> 	<p>⑥指先をもう片方の手の平でもみ洗いします。(両手)</p> 	<p>⑦手首も片方ずつ丁寧にみ洗います。</p> 	<p>⑧石鹸が残らないように流水で良くすすぎます。</p> 

医療福祉相談室のご紹介

～病気や障害のために、お困りのことはありませんか？



突然病気になると、医療費や生活費をはじめ、それまで予想もしなかった様々な問題にお悩みの方もいらっしゃるかと思います。また、福祉制度や介護保険制度など、ちょっと聞いてみたいけれど、どこで聞いたらいいかわからないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ここ、医療福祉相談室では、このような患者の皆様やご家族の方が抱える**社会生活上の問題**について、医療ソーシャルワーカー（MSW）が直接お話しを伺いながら、一緒に考え、解決のお手伝いをさせていただきます。

場所は本館1階、売店の向かいです。現在、スタッフ5名（ソーシャルワーカー3名、事務2名）で対応させていただいております。相談は無料です。どうぞお気軽にご相談ください。



ご相談いただいた内容の秘密は固くお守りいたします。

ご相談は混み合う場合があるため、下記の電話または相談室受付にて相談日時のご予約をお勧めします。

相談室直通 TEL：048-648-5184

医療費の支払いや生活費が苦しい  
医療費 増大

不安や心配があり、治療に専念できない  
家族 人間関係  
治療に関する不安

健康保険・年金などの制度について知りたい  
介護保険 健康保険 年金 障害者手帳 福祉用具 福祉施設

退院後のことが心配  
リハビリセンター 病院 訪問看護 ヘルパー 介護施設

職場や学校のことが心配  
仕事 学校 子育て

福祉制度や施設の利用は？  
介護保険サービス 自立支援サービス

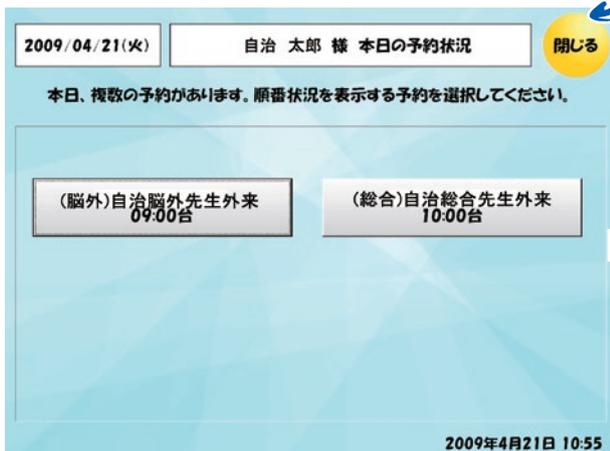
児童相談所 婦人相談所

# お知らせ

## 診察順番案内表示システムを設置しました！

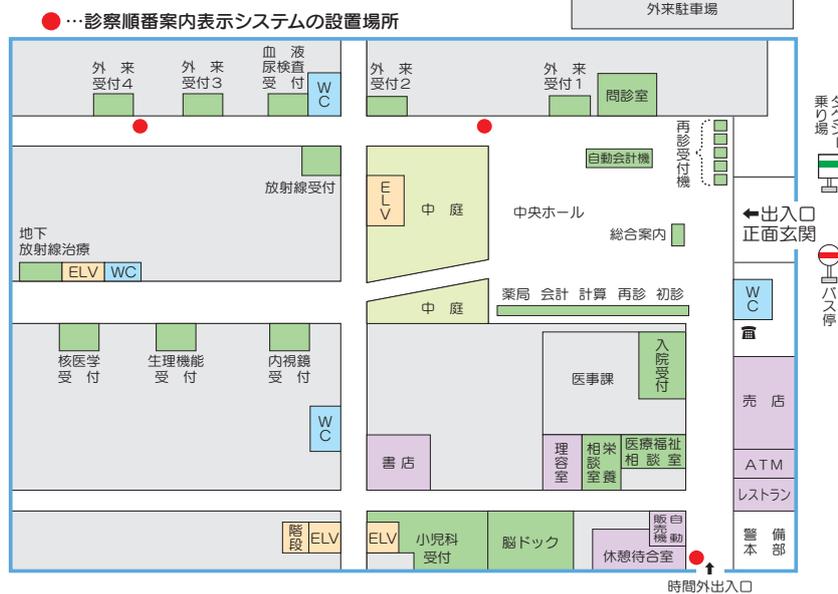
外来患者の皆様には、待ち時間が長時間におよぶこともあり、日頃から大変ご迷惑をおかけしています。“自分の番は、あとどれくらいなのかかわからず、席もはずせない”等のご意見に少しでもお応えできるよう、このたび診察順番案内表示システムを設置しました。

外来受付1、外来受付4、南口警備本部前談話室付近に設置してありますので、是非ご利用ください。



▲診察カードを差し込むと、このように表示されます。

### 設置場所



### 表紙写真

夏真っ盛り。一面に咲くひまわり。太陽の光を全身に浴びて、どの顔も誇らしげ。  
撮影：福沢事務部長

### 編集後記

センターだよりも今回で21号を迎え、全面的に刷新しました。これからも当センターにお越しの皆様へ少しでもお役に立てるような情報を発信していきたいと思えます。暑さがこたえる時期を迎えました。どうかお体大切になさってください。(Y)